

研究計画概要

助成年度・種別	2019年度 一般研究助成
研究代表者	松井 豊
所 属	筑波大学
研究テーマ	認知的加齢に関する心理学研究に基づく特殊詐欺予防講習の開発
研究計画概要	<p>本研究は、認知的加齢に関する心理学的研究の成果に基づいて、特殊詐欺予防のための講習を開発することを目的とする。特殊詐欺の被害者の多くは、犯人からの時間の切迫や身内の損失などの強調により、認知心理学で言うチョーキング(Choking)が起こりやすくなり、詐欺被害を受けていると考えられる。ただし、高齢者にチョーキングが起こりやすいことを実証した研究は少なく、チョーキング現象に関するメタ認知が与える効果についても、研究されていない。そこで、本研究では加齢と特殊詐欺被害の関係性について検討し、その研究成果を基盤とした特殊詐欺被害を防ぐ新たな講習教材の開発を行う。本研究は、茨城県警察本部本部捜査二課ニセ電話対策室との共同によって展開する。高齢者を対象にした実験は、筑波大学みんなの使いやすさラボが行う。研修の開発は上記対策室と研究者が共同で行い、茨城県警が主催する特殊詐欺の予防講習で実施し、効果測定を行う。具体的には、下記の研究を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none">①チョーキングと加齢が認知的過程に及ぼす効果に関する実験②教材案の作成③教材案の評価と教材の作成④講習の実施と効果測定⑤教材の利用法に関する警察官への研修の開催
選考委員からのコメント	<p>本研究は、高齢者にチョーキング(choking)が起こりやすく、特殊詐欺の被害を受けやすいことを実証しようとするものである。実証された研究を基盤として、更に特殊詐欺被害を防ぐ講習教材の開発を進めるものである。本研究は、社会安全に貢献するものと思われ、研究成果に期待が持てる。</p>